

各位

会社名 プレミアグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 柴田 洋一
(コード番号: 7199 東証市場第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 金澤 友洋
(TEL. 03-5114-5708)

2022年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月10日に開示した2022年3月期の通期連結業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期の通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	営業収益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	21,446	3,500	2,422	2,409	189.99
今回修正予想 (B)	21,446	3,900	2,751	2,734	204.84
増減額 (B-A)	0	400	329	325	—
増減率 (%)	0.0	11.4	13.6	13.5	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	17,825	3,463	2,393	2,383	186.74

(2) 業績予想の修正理由

当社を取り巻く中古車販売市場の売上動向は、世界的な半導体不足の影響による新車販売の減産を受け、中古車の在庫不足による価格の高騰及び登録台数の減少が続いておりますが、当社が主力事業と位置づけるファイナンス事業・故障保証事業・オートモビリティサービス事業の3事業は、DX化や営業組織体制の細分化、クレジット加盟店社数・整備工場ネットワーク社数・会員制組織の拡大等により、いずれの事業も概ね計画通りに推移していることから、営業収益につきましては、概ね期初予想どおりの水準となる見通しであります。

税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、当社の主力3事業の順調な業績推移及び故障保証事業のグループ間シナジー効果による原価抑制等で経費削減が図れたことから、期初予想を上回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 2022年3月期の配当予想の修正

(単位：円)

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想		25.00	50.00
今回修正予想		26.00	51.00
当期実績	25.00		
前期実績 (2021年3月期)	22.50	23.50	46.00

(2) 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識するとともに、業績や事業拡大に向けた資金需要に対応した内部留保の確保を総合的に勘案したうえで、安定的かつ継続的な配当を実施していきたいと考えております。

1. に示した 2022 年 3 月期の通期連結業績予想修正に記載のとおり、税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益の期初予想比増益の見通しから、上記配当方針のに基づき財政状況等を勘案し、期末配当予想を 1 株当たり 25 円から 1 円増配の 1 株当たり 26 円に修正いたします。この結果、既に実施済みの第 2 四半期配当金と合わせ、年間配当は 1 株当たり 51 円となる見込みです。

(注) 上記に記載いたしました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、既知、未知のリスクや不確定要素の要因により、実際の業績は上記予想と異なる可能性があります。

以 上